

報 告 書

開催日時	令和5年2月9日 19時00分 ～ 20時10分		
自治協議会名	上野西部地区住民自治協議会	開催場所	上野西部地区市民センター
出席議員	西田方計、川上善幸、山下典子、増田雄（班外議員）森中秀哲、百上真奈		
	班長	西田方計	記録・報告者 川上善幸
参加人数	24名		

【主な意見・提言等】

（１）伊賀市長、市議会議員の同日選挙について

- ・経費については、市長選挙では約4,880万円、市議会議員選挙では約9,210万円、合計1億4,090万円差し引きでは約3,200万円の経費削減となる。
- ・経費節約となるなら同日は良いと思うが投票率もあがるのか関心がある。
- ・市長と市議では政策に違いがあると思うので同日になると混乱しないか心配である。
- ・18歳の若者に市長、市議会、行政の役割等の主権者教育はできているのか。

（２）地域づくり、担い手育成、中心市街地の活性化について

- ・ふれあいプラザは令和5年7月オープン予定で進んでいるが1階2階のオープンは遅れる見込み。
- ・ふれあいプラザの工事で時折大きな音がするが、地域に詳細な説明は無いし、何をやっているのか分からない。行政から手は離れてしまっているのか。
- ・地域の役員は高齢者が多く、若者との接点が少ないので若い人がどういう町にしたいのか分からない。
- ・ふれあいプラザは1階に予定されているスーパーが一番関心を持っているが進捗状況はどうか。
- ・ふれあいプラザ東側の壁面の電灯が消えたままなので、つけてもらうようお願いはしているが未だに消えたまま。
- ・にぎわい忍者回廊の成瀬平馬家長屋門は普段は閉まっているし、前の側溝に蓋は無く、ゴミが捨てられ溜まっている。食べ歩きでゴミがあちこちに捨てられているがどうにかならないのか。
- ・伊賀市はどんな計画でも設計前に地元の意見を聞き入れてくれ。1億円のトイレの時も同じ状況だった。
- ・地元の声に対して、行政間で調整できているのか。
- ・伊賀市はなぜ人口減少していくのか理解しているのか。子育てや教育にしっかり力を入れている明石市を参考に人口減少を食い止めよ。
- ・伊賀市は何の政策を中心にしたまちづくりなのか住民には分からない。
- ・上野西部地区は他地域より高齢化率が高く、伊賀市の平均より寂れているが原因はなんなのか。
- ・同日選挙で節約できたお金は、全額まちづくり協議会に配分するようにして欲しい。特に高齢化率が高い地域や寂れている地域を中心に、活性化ができるようなお金の使い方をして欲しい。

伊賀市議会議長 様

令和5年2月13日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和4年度 地域意見交換会 2班

班長 西田方計